



模型を使って採血を体験する生徒たち—徳島市の徳島大病院

中高生43人が 医療技術体験

徳島大病院

診療放射線技師や作業療法士などの医療技術職について関心を高

めてもらおうと、徳島大病院は26日、徳島市の同病院で体験会を開き、県内の中高生43人が参加した。

臨床検査、診療放射線、臨床工学、リハビリテーション、歯科医療の五つの技術部門が設けられ、参加者は順番に体験。臨床検査では技師から業務の説明を受け、超音波検査や病理検査を見学した。模型を使って採血もを行い、緊張した表情で取り組んでいた。

医療職を目指す城西中3年の梅本紗央里さん(15)は「本物の医療現場を体験でき、興味が湧いた」と話した。

(矢田諭史)